

第6回 食の新潟国際賞 受賞者決定！

大賞に中村 哲・ペシャワール会・PMS

世界各国から多数の推薦

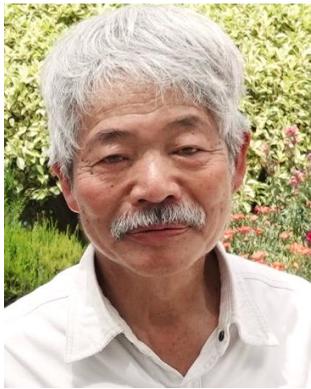
第6回食の新潟国際賞の受賞者選考は昨年9月～12月末までの期間、世界12カ国87名の推薦応募があり、書類審査を経て第6回食の新潟国際賞選考委員(委員長 唐木 英明)による第1次選考が行われました。その後選考委員会に於いて、最終受賞候補者が選定され理事会に答申されました。

そして、理事会で唐木選考委員長出席の下、最終選考が行われ受賞者が決定されました。

なお、受賞者発表記者会見を新潟市役所にて、受賞者、新潟市長、唐木選考委員長、池田財団理事長が同席の下、開催されます。

大賞＝中村 哲・ペシャワール会・PMS(平和医療団・日本)(日本)

世界の食の問題解決への顕著な貢献 1件 賞状、正賞(記念工芸品)、副賞 1,000万円



中村 哲 氏

ペシャワール会前現地代表
PMS(平和医療団・日本)総院長



村上 優 氏

ペシャワール会 会長
PMS 総院長

○ 受賞理由 :

アフガニスタンの大干ばつと内戦による難民の餓死を救うため、緑の耕作地を蘇らせる用水路を建設し食糧生産と農業復興を進め、農民の定住と飢餓と貧困からの脱却など、多くの功績を残し殉職した中村氏の崇高な活動を讃えて、ペシャワール会の活動の継続を強く支援する。

○ 主な活動・研究について :

【 中村 哲 氏 】

1984年にパキスタンの北西辺境州(現パクトウンクワ州)の州都ペシャワールのミッション病院ハンセン病棟に赴任しました。ペシャワールはアフガニスタン国境にありアフガニスタンからの難民が多く、難民診療のため1986年にジャパン・アフガン・メディカルサービス(のちのPMS)を開設。2000年、アフガニスタンを襲った未曾有の大干ばつ対策として飲料・灌漑用の井戸掘削を開始した。2008年までに1600本の飲料用井戸、13基の灌漑用井戸を掘削した。地下水位の下降が見られ、2003年に大河川のクナール川から取水し用水路の建設を引くことを決定。2010年3月、全長約25km(現27km)のマルワリード用水路が開通し、活動地近隣の既存用水路の全面的な改修にも着工。2019年末には、16,500ha.の灌漑を可能にし約65万人の生存を保証した。

【 ペシャワール会 】

1983年9月中村哲医師のパキスタンでの医療活動を支援する目的で設立された。のちに医療活動はアフガニスタンへも活動が拡大される。2000年のアフガニスタンの干ばつ被災を受け、中村哲医師(PMS総院長)が展開する井戸掘削、用水路建設、農業事業を医療活動と共に支援を継続する。年4回会報を発行し支援者の方々に現地活動の報告をする。現在、支援者は会員・非会員合計約20,000人。

佐野藤三郎特別賞＝大坪 研一 氏(日本)

地域の国際交流や研究での顕著な貢献 1件 賞状、正賞(記念工芸品)、副賞 100万円

新潟大学自然科学系・フェロー / 新潟薬科大学応用生命科学部・特任教授



○ 受賞理由 :

永年にわたるコメの品質利用研究分野でのコメの①食味評価②DNA品種評価③コメの機能性など多くの研究や加工利用技術分野におけるアジアの第一人者であり、国際研究交流などその普及に大きな功績をあげている。

○ 主な活動・研究について :

農水省食品総合研究所、新潟大学および新潟薬科大学において、40年間、米の品質・利用の研究に従事し、米の多面的理化学評価による食味評価技術を開発し、PCR法による米のDNA品種判別技術の開発、新潟県と協力しての「新潟県産コシヒカリ」と他県産コシヒカリの判別キットの開発、米飯や日本酒などの米加工品の原料米判別技術を開発した。また、発芽玄米、膨化玄米など、健康機能も兼備した新規米加工食品を開発し、これらの研究成果は、283報の学術論文として掲載され、査定特許も24件に上る。また、海外の研究所との共同研究や海外研修生の受け入れなど国際的にも活動してきた。さらに、新潟大学産学地域連携推進センター長を務めて新潟の各地域との産学連携事業を推進したほか、県産新品種「新之助」の食味特性の評価、米粉の用途開発や、新潟市食文化創造都市推進会議、食の新潟国際賞財団など、さまざまな分野で、新潟地域の発展に貢献してきた。

21世紀希望賞＝矢野 裕之 氏(日本)

発展と成果が期待される研究・活動 1件 賞状、正賞(記念工芸品)、副賞 100万円

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

食品研究部門 食品加工流通研究領域 食品素材開発ユニット・ユニット長



○ 受賞理由 :

米粉パンの製造技術を開発し、一般消費者の米粉・ホームベーカリー機器を実用化し、国内外に広く普及させた。この技術は小麦アレルギー持つ人たちにも恩恵を与え、SDGs「すべての人に健康と福祉」の目標にも貢献する。

○ 主な活動・研究について :

SDGsのひとつ「すべての人に健康と福祉を」という観点から、新しい食品の開発に取り組んでいる。世の中の役に立つ食品を製造するための基盤技術を開発して特許を出願し、これを食品製造企業に実施許諾して製品化することを目指している。農業・食品分野での科学技術イノベーションに貢献したい。

地域未来賞＝江川 和徳 氏(日本)

新潟県内での食と農への顕著な貢献 1件 賞状、正賞(記念工芸品)、副賞 100万円

江川技術士事務所(農業部門) 所長 / 新潟県農業総合研究所 食品研究センター長



○ 受賞理由 :

新潟県の食品加工技術の向上と加工食品の開発と製品化の第一人者である。特にコメ加工食品の低たんぱく質米飯や無菌化包装、餅やトレイ炊飯などの包装米飯の開発を全国一のレベルと規模に押し上げた功績は大きい。

○ 主な活動・研究について :

新潟農業総合研究所 食品研究センター長として、特にコメ加工食品工場の排水処理技術の研究と技術開発を行うとともに、コメ加工食品の無菌化包装、餅やトレイ炊飯による包装米飯の開発を業界との共同で行い、新潟県での官の研究・民の生産で実績を上げた。退官後も江川技術士事務所(農業部門)開設し、県内食品関係企業の技術や開発相談に対応しつつ、新潟県食品技術研究会会長や新潟県食料産業クラスター協議会事務局、6次化プランナーなどの講師やアドバイザーとして多角的に活動し、県内食品企業や農業の将来を見越して知見集積すべき技術を紹介や技術指導を行っている。具体的な分野は、新規米加工品の開発および冷凍流通技術の開発課題で米粉製造、製パン、製麺、米麺の開発、粉みその開発成果、冷凍、解凍、保管調理、などの技術指導である。これら活動と研究の原点は、新潟県食品研究センター元所長・斎藤昭三氏(故人)が志した「新潟アグロインダストリーランド」の構想にある

● 正賞「シュプリンゲン」

正賞として授与されるモニュメントは、文化庁長官(前東京藝術大学学長)宮田亮平氏によって制作されたものです。



● 第6回食の新潟国際賞 選考委員会

(敬称略・順不同)

職名	氏名	所属・職名
委員長	唐木 英明	公益財団法人食の安全・安心財団 理事長
委員	赤阪 清隆	公益財団法人フォーリン・プレスセンター 理事長
委員	石井 勇人	株式会社共同通信社 取締役
委員	今野 正義	株式会社日本食糧新聞社 代表取締役会長CEO
委員	西澤 直子	石川県立大学 学長
委員	清水 誠	東京大学 名誉教授
委員	生源寺 眞一	福島大学 農学群 食農学類長・教授
委員	土田 豊樹	新潟県農業総合研究所 食品研究センター長
委員	伊藤 忠雄	新潟大学 名誉教授

● 表彰式スケジュール

第6回国際賞表彰式は11月24日(火)に開催予定

第6回目を迎える食の新潟国際賞は11月24日(火)に新潟市の朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 国際会議室(マリンホール)で開催いたします。是非多くの方からご出席いただきますようご案内申し上げます。

※ 下記スケジュールは現段階の予定です。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催内容が変更(延期・中止)される可能性があります。

あらかじめご了承ください。

主な行事	時刻	会場
表彰式	15:00~16:00	朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 4階 国際会議室 (マリンホール)
受賞者記念講演	16:00~18:00	
受賞祝賀会・交流レセプション	18:00~20:00	ホテル日航新潟 朱鷺の間

(第5回表彰式の様子)



(朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター)



令和2年度理事会及び評議員会を開催、各議案が承認されました。

新役員を選出、新体制がスタート



令和2年度第1回理事会(6月23日於:新潟市)と評議員会(書面決議)が開催され、令和元年度事業報告・及び決算、および役員改選が審議され、評議員会に於いて承認されました。

○役員の変更

令和2年度は理事・監事(任期2年)、評議員(任期4年)の同時改選時期に当たり、理事会が評議員会に提案し承認されました。役員名簿は下記の通りです。

理事

	氏名	所属・役職
理事長	池田 弘	(学) 新潟総合学園 総長
副理事長	中原 八一	新潟市長
副理事長	田中 通泰	亀田製菓(株) 代表取締役会長CEO
副理事長	吉田 康	(株)ブルボン 代表取締役社長
常務理事	鈴木 伸作	(公財)食の新潟国際賞財団
理事	五十嵐 豊	亀田商工会議所 会頭
理事	今井 長司	新潟県農業協同組合中央会 代表理事会長
理事	大坪 研一	新潟薬科大学 特任教授
理事	小田 敏三	新潟日報社 代表取締役社長
理事	門脇 基二	新潟工科大学 副学長
理事	齋藤 吉平	新潟県酒造組合 顧問
理事	佐藤 功	佐藤食品工業(株) 相談役会長
理事	霜鳥 雅徳	新潟商工会議所 副会頭
理事	杉本 克己	亀田郷土地改良区 理事長
理事	武本 俊彦	新潟食料農業大学 教授
理事	富山 栄子	事業創造大学院大学教授 副学長
理事	中山 輝也	(株)キタック 代表取締役会長
理事	西海 理之	新潟大学農学部 教授
理事	野崎 正博 新	一正蒲鉾(株) 代表取締役社長
理事	吉田 至夫	新潟経済同友会 代表幹事

評議員

R2.7.8 現在(順不同)

	氏名	所属・役職
	赤阪 清隆 新	(公財)フォーリン・プレスセンター 理事長
	牛木 辰男 新	新潟大学 学長
	青山 浩子	新潟食料農業大学 講師
	唐木 英明	(公財)食の安全・安心財団 理事長
	下條 文武 新	新潟薬科大学 学長代行
	小泉 武夫	東京農業大学 名誉教授
	今野 正義	(株)日本食糧新聞社 代表取締役会長CEO
	並木 富士雄	第四銀行 取締役頭取
	西澤 直子 新	石川県立大学 学長
	西澤 正豊 新	新潟医療福祉大学 学長
	服部 幸應	(学) 服部学園 理事長
	渡辺 好明	新潟食料農業大学 学長
	若杉 隆平 新	新潟県立大学 学長

監事

	氏名	所属・役職
	栗山 敏昭	(株)栗山米菓 代表取締役社長
	酒井 昌彦 新	(株)NST新潟総合テレビ 代表取締役社長
	牧 利幸	第四銀行 常務取締役 兼 営業本部長

特別顧問・ファウンダー

	氏名	所属・役職
	古泉 肇	亀田商工会議所 顧問

顧問

	氏名	所属・役職
	篠田 昭	前新潟市長

相談役

	氏名	所属・役職
	栗山 清	(株)栗山米菓 相談役
	武田 修三郎	日本産学フォーラム ファウンディングディレクター

財団事務所が移転しました

この度当財団事務所は新潟市役所の一部移転に伴い今年5月7日より移転いたしました。

今後とも変わらぬご協力を御願ひ申し上げます。

ご不明な点等ありましたら事務局あてにご連絡ください。



1. 新所在地

〒951-8063 新潟県新潟市中央区古町通7番町1010番地 新潟市役所 ふるまち庁舎 6階

2. 電話及びFAX番号、E-mail(従来と変更ありません)

TEL:025-201-8901 FAX:025-201-8902 E-mail : info@niigata-award.jp

財団の新事務局長に駒形正明氏が就任

令和2年7月1日付けで財団事務局長として駒形正明(こまがた まさあき)氏が就任いたしました。

駒形事務局長は(株) テレビ新潟放送網の編成局長、(株)TeNYサービス代表取締役社長、会長を歴任されております。

TeNYテレビ新潟在職中は「佐野藤三郎氏」関連の数々の特別番組の制作や亀田郷土地改良区や新潟22の会、当財団の3団体で共同製作しました「佐野藤三郎氏の小学校教材」にも関わっております。

また、環日本海経済研究所(ERINA) 研究員として在職し、国際通でもあり、当財団事業の中国黒龍江省への訪中視察団にも3回参加するなどこれまでも当財団の事業に協力をいただいております。

今後は駒形事務局長にはマスコミ界のみならず幅広いネットワークを生かし、より幅広い事業展開や特に財団として発信力や広報活動の強化に力を発揮いただきます。

皆様には宜しく御願ひ申し上げます。



事務局長 駒形正明

● 特別会員

亀田製菓(株)	(株)ブルボン	(学)新潟総合学園
一正蒲鉾(株)	佐藤食品工業(株)	新潟県農業協同組合中央会
(株)第四銀行	(株)栗山米菓	亀田郷土地改良区
(株)新潟日報社	(株)新宣	(株)エイケイ
亀田商工会議所	(株)新潟クボタ	NST新潟総合テレビ
にいがた22の会	(株)日本食糧新聞社	ホテル日航新潟
五十嵐建設工業(株)		

● 正会員

新潟市農業協同組合	月島食品工業(株)	セツカートン(株)新潟工場
新潟県信用組合	日本製粉(株)関東支店	東邦産業(株)
(株)第一印刷所	日本甜菜製糖(株)	麒麟山酒造(株)
(株)本間組	(株)鳥梅	(株)加島屋
石本酒造(株)	新潟工科大学産学交流会	(株)日本フードリンク
(株)ミカサ	(株)キタック	(株)アド・メディック
神山物産(株)	北越工業(株)	UX新潟テレビ21
ハセガワ化成工業(株)	丸榮製粉(株)	イカリ消毒(株)
藤屋段ボール(株)	新潟万代島総合企画(株)	新潟工科大学
(株)タケショー	鍋林(株)ヘルスフーズ事業部	(株)日本旅行新潟支店
(株)新潟博報堂	TeNYテレビ新潟放送網	(株)田中組
BSN新潟放送	(株)栗田工務店	(医)愛仁会 亀田第一病院
新潟陸運(株)	三和薬品(株)	
(株)新潟食品運輸	松田産業(株)	

● 個人会員

藤島 安之	和田 充彦	井田 増夫	古泉 肇	高畑 昭文	廣瀬 利雄	山口 勉	木村 真教
君塚 毅	宗像 寛明	高橋 常考	田村 敏郎	杉本 克己	近藤 鴻	佐藤 珠美	大坪 守
大川 秀雄	大倉 正寿	吉岡 謙一	古口 日出男	坂田 武利	門脇 基二	佐藤 久栄	大谷 勝男
田中 敏明	青木 清	阿部 徳威	佐藤 勉	佐藤 清一	野上 文彰	板井 茂	浅井 善広
佐野 正人	田中 作一	新保 房機	古泉 榮三	今泉 昇	佐藤 純	倉嶋 則昭	塚本 太一
大越 斎	野口 正晴	酒井 定勝	加藤 洋介	長谷川 宏志	齋藤 秀明	松本 裕志	當野 篤
高山 利夫	久保田 紳一	河瀬 三千夫	和澄 孝男	五十嵐 修	望月 健三郎	山田 雄治	長谷部 一裕
鈴木 正二	竹石 松次	古泉 幸代	大森 ゆかり	高橋 慶三	阿部 昭一	渡邊 信也	丸山 美由紀
井浦 康晴	宇野 勝雄	赤塚 義廣	坂井 俊一	鈴木 伸作	佐藤 銀治郎	加藤 寿一	石附 由美子
齋藤 博文	齋藤 幸広	田辺 俊文	小田 静二	渡邊 徹	中村 好彦	栗田 浩	栗田 朋子
阿部 文仁	高尾 茂典	五十嵐 豊	久代 勝英	古泉 幸一			

食の新潟応援団(賛助会)募集中!

食を通じて飢餓や貧困などに苦しむ世界の現状に目を向けると、日本にいる私たちにも食の危機が及びつつあり、世界の人の命が一つにつながっていることがわかります。

食と私たちの命を守る本財団の事業に賛同し 応援して下さる皆様を募集しています。

詳しくはホームページをご覧ください。 ホームページ <http://www.niigata-award.jp/>